

地域おこし協力隊 清水です。

春の大型連休を目前にした4月下旬、別所地区で取り組んでいる健康参拝ウォーキングロードの整備作業が行われました。

今回は桜の植樹、ベンチの新設、放置されたブランコの撤去など大掛かりなものとなりましたが、幸い天候にも恵まれ夕方には目標としていた作業を終えることが出来ました。

桜はウォーキングロード入口から稲荷山山頂に続く道中に約10本…そして山頂ではゆっくり休めるようベンチが置かれ、広く田園風景を望むことができます。

これからの計画では6月頃に竹の伐採をさらに行う予定ですが、課題となってくるのが竹の活用です。色々と活用方法を考えていますが、まずはウォーキングロードを歩く時に活躍する杖を作りたいと思います。

これから天候に恵まれる日も多くなると思いますので、一度ウォーキングロードを散策してみたいと思いませんか？

別所集落開発センターを目印にお越しください！

お問合せ先 別所集落開発センター 0250-58-2615(主に月曜日～木曜日の日中に駐在)



「たわしひとつで街をきれいに」このスローガンのもと、定期的に郷屋川の清掃活動を行っているたわし隊の活動に先日参加してきました。

年に3回ほどのペースで行っている活動も18回目..今回は中学生や高校生を含む有志15人ほどが参加し1時間ほど作業にあたりました。

雑草の草刈りや川の中のごみ拾い、そして井戸の中の小石をたわしでゴシゴシと..。

街の中を流れている川の風景は癒しのひとつに感じます。それが綺麗になっていくと何だかますます魅力的な場所を感じてきます。

この活動は、どなたでも参加できますので、そんな体験を是非味わってみてはいかがでしょうか？

次回の活動予定は今年の夏だそうです。詳しくは「清流の里たわし隊」を検索してみてください。



先日、五泉市の刈羽地区でエゴマを自家栽培している川上農園さんにお伺いしてきました。
この日は大蒲原小学校の生徒さんが授業の一環で農園見学を訪れる日で、その様子を取材させていただきました。

見学先の中心は、エゴマの苗を育てているビニールハウスやエゴマを生育させている畑です。
コロナ対策のため本来予定していたエゴマを試食する時間はなくなりましたが、とても興味深く話を聞く生徒さんの姿や、次から次へと質問を投げかける様子を見ていると、この日を楽しみにしていたことが十分に伝わってきました。

「まちの自慢を見つけよう」

そうお題が書かれたノートが質問の答えでどんどん埋まっていきます。

「エゴマは野菜ですか?」「農薬を使わないのはなぜですか?」など次々出てくる質問に丁寧に答えを返す川上さんの姿も印象的でした。

そして授業の最後は親子ヤギとご対面…。

大蒲原小学校では定期的にこのような社会学習の時間を設けているそうですが、今回も生徒さんにとっては貴重な体験ができたのではないかと思います。

